

ワイヤレスカメラの設置できない場所

ワイヤレスカメラ設置 NG-1

電波が届いてこそこのワイヤレスカメラです。

ここで紹介している設置例は、ワイヤレスカメラにとってふさわしくないものばかりです。設置を優先する場合は、有線 LAN 接続や有線カメラでご使用ください。

木造住宅以外（鉄筋・鉄骨・ALC・土壁・特殊素材）の建物

窓際さえも電波が届かない恐れがあります。



3 階建て以上の建物

床・天井等の物理的な障害物に加え、電波の特性上縦方向は、電波が届かない恐れがあります。（地上からのワイヤレスカメラ推奨設置高は、2m30cm 前後です。）



ワイヤレスカメラ設置 NG-2

例：モニターはこの木造住宅の室内にあります

カメラ間：5m 以内

カメラ間が近すぎると電波干渉により映像が映らなくなる場合があります。カメラ同士は 5m 以上離して設置してください。設置が難しい場合は、リピーター機能（対応機種のみ）のご利用をお試しください。

玄関灯やセンサーライトの光がカメラに当たる

カメラにライトの光が当たると無反応や映らない恐れがあります。必要な場合は、カメラは光源の真下に設置してください。

離れや物置にカメラを設置

木造の離れ等であっても、モニター間に壁が複数ある場合は、電波が通れ通信できないことがあります。

カメラのフードを天にむけしないで傾け

フードを横・斜め・下にすると検知しません。故障の原因にもなります。

高所に設置 雨ざらし、直射日光が当たる

カメラが高い位置にあると検知が難しくなります。また、夜間映像も暗くなる場合があります。軒下推奨です。

壁に平行

壁に平行に設置すると、夜間赤外線が反射して白飛びしてしまいます。昼間の画像を確認しながら、壁が映らない位置で設置してください。

金属製のカーポート

電波が遮断される恐れがあります。

家からかなり離れた門扉等

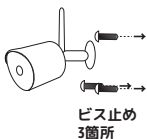
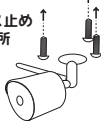
電波が届かない恐れがあります。

※掲載の図・イラストはイメージです。

カメラの設置について

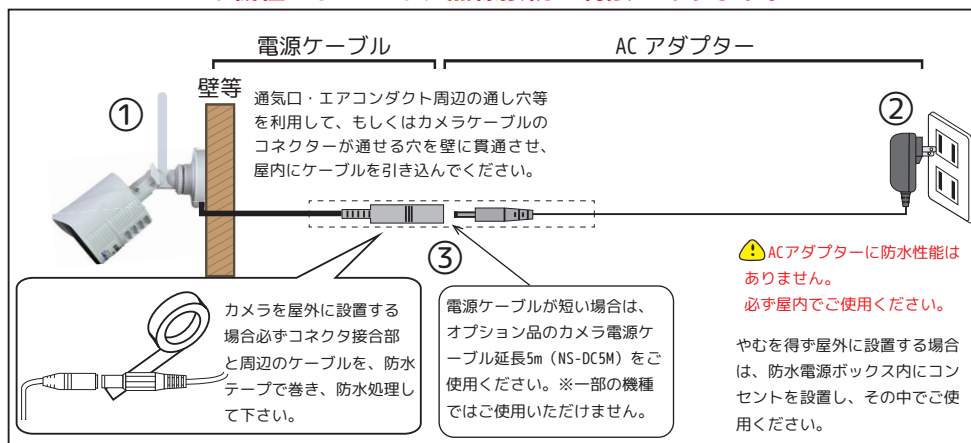
< 屋外カメラの設置例 >

※本製品を長くご使用いただくため、軒下での設置をおすすめします。

壁面に設置する場合	門袖等平面に設置する場合	天井に設置する場合
カメラは水平方向より上に向けないでください  ビス止め 3箇所	カメラは水平方向より上に向けないでください  ビス止め 3箇所	※アンテナがあるため、上側に向きません。 ※アンテナが干渉する場合は、オプション延長アンテナ「NS-AD73」をご使用ください。  ビス止め 3箇所

※本製品を屋外で長期間使用される場合、直接日光や雨により劣化しカメラの落下事故につながる可能性がありますので、設置場所は安全な場所を選んでください。そしてカメラ設置の定期的な点検をお願いいたします。

無線接続でご使用の場合は、カメラ同士を必ず 5m 以上離して設置してください。
※機種によっては、無線接続に制限があります。



施工上の注意

- ・屋外のコネクター接続部には防水処理を行ってください。
- ・ACアダプターは屋内、または防水電源ボックス内でご使用ください。
- ・電源ボックスを屋外に設置する場合は、メンテナンスや再起動の際にご自身で電源ボックスを開けて電源プラグの抜き差しができることを、設置前に必ず設置業者へご確認ください。
- ・アンテナや取付場所の条件により希望する向きに調整できない場合は、オプションの延長アンテナをご使用ください。
- ・夜間に映像内へ白っぽい影が映る場合は、カメラの向きや設置位置を調整してください。

例：防水電源ボックス

